

長崎県子連NEWS

あすをひろく子ども会

長崎県子連ニュース No.41
平成31年(2019年)3月

発行／一般財団法人 長崎県子ども会育成連合会
〒850-0057 長崎市大黒町3番1号 TEL・FAX095-827-4574
URL <http://www.kodomo-kai.or.jp/nagasaki/> e-mail kdm42@axel.ocn.ne.jp

第51回(平成30年度) 全国子ども会中央会議・研究大会(名古屋大会)

不祥事の発生により開催延期となっていた、第51回(平成29年度)全国子ども会育成中央会議・研究大会が、平成30年7月14日(土)～15日(日)に名古屋市のローズコートホテル及び中区役所で開催されました。平成29年度全子連表彰式・受賞祝賀会・記念講演・部会協議が行われ、長崎県からは、受賞者を含め3名が参加しました。



開会式



全子連表彰



記念講演①



記念講演②

開 催 趣 旨 (全子連)	大 会 日 程
現在の子どもたちは、異年齢集団での体験活動が難しい環境にあるといわれており、「保護者の理解と参加で子ども会活動の活性化」を進めるのが難しい状況があります。遊びの内容も、ひとり遊びが主になって、「シニア、ジュニア・リーダーが進める子どもの手による子ども会」活動から離れていきます。地域にとって大切な「子どもたちに残し伝えたい自然と郷土伝統芸能」の伝承活動も厳しくなり、地域社会との関わりが消滅してしまうのではないかと危惧されます。 こうした状況を打開すべく、全子連では平成28年度から地区の活動を活性化させることを目的として地区推進研究会を、平成29年度からは地区推進研究会の会員の中から子ども会未来委員会を開設し、グローバルな視野に立ちながらも地域性を考慮して計画を進めることや、シニア(ユース、青年)・リーダーの力を借りて子ども会活動をさらに活発に推進することなど新たな一歩を踏み出しました。 名古屋市では、4つの環境都市像(健康安全都市・循環型都市・自然共生都市・低炭素都市)の実現に向けて従来からさまざまな事業を展開しています。 子ども会の原点である自然の中での集団体験活動を今一度振り返ることで、各地域で一層の取り組みがなされることを願っております。	大会1日目〔7月14日(土)〕 1 開会式 13:00～ ①開会の辞 ②主催者あいさつ ③来賓祝辞 ④歓迎あいさつ など 2 表彰式 ・指導者・育成者 70名 ・子ども会・司式・団体 45団体 3 記念講演① 14:45～ ・「自然から学ぶ 自ら気づき考える力」 ・講師 環境省 環境カウンセラー 篠田陽作氏 4 記念講演② 16:00～ ・「色の魔法で幸せがやってくる」 ・講師 美しい生き方研究家 永谷公美英氏 5 受賞者記念撮影 17:00～ 6 受賞者を囲む会・50周年記念情報交換会 ・アトラクション 17:30～ ・祝宴 18:00～ 大会2日目〔7月15日(日)〕 1 部会協議 9:00～ 1部会 子ども会と連合組織の在り方 2部会 シニア・リーダーの役割 3部会 ジュニア・リーダー事例発表 2 部会報告会 11:00～ 3 閉会式 11:30～

第50回（平成30年度）九州地区子ども会育成研究協議会～大分大会～

平成30年10月27日（土）～28日（日）： 別府市公会堂

本年度の九州地区子ども会育成研は大分県開催で、九州各県から約380名が参加し、熱心な研究協議が行われました。長崎県からの参加者は、九子連表彰受賞者を含め10名でした。

第2部会は長崎県が担当し、諫早市子連の「宮田龍郎」様の事例発表をもとに、県子連専門委員の「平山仁」様の司会進行でグループ協議を行いました。



別府市公会堂



歓迎セレモニー

大会日程

第1日目〔11月4日（土）〕（別府市公会堂）

- ① 歓迎セレモニー「太田子ども会：コーラス」
- ② 開会式・表彰式
 - ・主催者・来賓あいさつ
 - ・九子連表彰
- ③ 親子対談「親子で支える子ども会」
 - ・安岐町子ども会：中野昭純・浄昭 親子
- ④ 部会協議
 - ・第1部会「今の子ども会員は、何を求めているのかを考える。」
 - ・第2部会「子ども会活動を通じ、地域に貢献できることを考える。」
 - ・第3部会「九州地区子ども会推進研究会からのテーマから考える。」
 - ・第4部会 シニア座談会「シニアに求められるもの」
- ⑤ 情報交換会（亀の井ホテル）
 - ・アトラクション「ハワイアンバンドショー」（マハロエコース）

第2日目〔11月5日（日）〕（別府市公会堂）

- ① アトラクション「伝承芸能：蛇谷太鼓」（武蔵西小学校）
- ② 全体会 各部会協議報告
- ③ 大会宣言文提案・採択
- ④ 閉会行事
 - ・開催県あいさつ（大分県）
 - ・大会旗引継ぎ
 - ・次期開催県あいさつ（宮崎県）



開催県あいさつ



宮田龍郎 様（左） 平山仁 様（右）
第2部会協議



情報交換会



マハロエコース



親子対談



武蔵西小



全体会（部会協議報告）



大会旗の引継ぎ

次回 第51回大会（2019年度）は、宮崎県で開催されます。

〔2019年11月30日（土）～12月1日（日）〕

平成 30 年度第 40 回 長崎県子ども会伝承芸能大会 in 島原市

昭和 54 年に始まり本年度で 40 回目を数える長崎県子ども会伝承芸能大会が、平成 31 年 1 月 20 日（日）、島原市有明総合文化会館において開催されました。市内はもとより県内各地から約 300 名の参観者がありました。開催にあたっては、地元島原市子ども会育成連絡協議会ならびに島原市教育委員会の多大なご支援とご協力をいただきました。出演団体には県子連会長から賞状と記念品が贈られました。



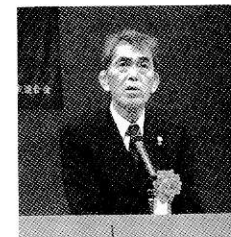
開会式

県教育庁生涯学習課
課長 山口千樹 様

鶴亀の舞・花の袖・釣ろうよ【肥前島原子ども狂言】



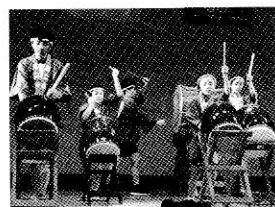
島原の能楽の伝統を子ども達にも伝えようと、平成 16 年に「島原子ども狂言ワークショップ」を立ち上げたのが始まりです。以来、和泉流狂言師・野村万禄先生の御指導のもと、稽古を重ねてきました。平成 28 年に「島原半島文化賞」を機に、正式名を「肥前島原子ども狂言」とあらためました。

島原市教育委員会
教育長 森本和孝 様

不知火太鼓【島原市立第二小学校 不知火太鼓クラブ】



寛政 4 年（1792 年）雲仙岳噴火の鎮魂と防災の祈りを込めて始まったのが「不知火太鼓」です。現在、第二小学校の不知火太鼓クラブが伝統を受け継ぎ、長池要七先生の指導のもと頑張っています。平成 21 年には長崎県教育委員会表彰を受賞し、市民音楽祭や地域行事等に多数出演しています。

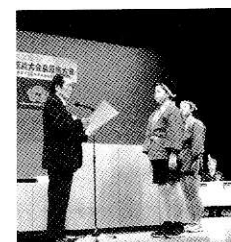


進行：上田すず子 副会長

島原土塙唄【島原市立三会小学校 土塙唄伝承クラブ】



建築基礎工事である土固めの作業唄や祝い唄というたわわっていた土塙（ドーヅキ）唄を郷土の文化遺産として位置づけ、後世に伝える目的で平成 6 年に「島原土塙唄保存会」を発足しました。現在会員は、老人会をはじめ約 90 名ほどです。三会小学校には伝承クラブができ活動しています。

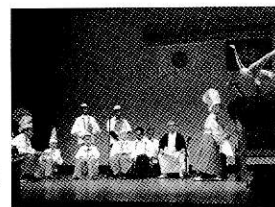


表彰式

八幡神社浮立【三之沢浮立子ども会】



有明町三之沢八幡神社では、毎年 8 月下旬、風除祭が行われています。台風から稲を守り、五穀豊穡と氏子の安寧を祈願するもので地域総出のお祭りです。浮立はこの渡御で御旅所までの道中（お下り・お上り）、大人達が笛と謡、子ども達がそれに合わせて太鼓を打ち奉納するものです。

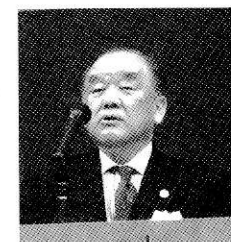
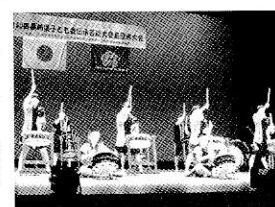


講評：松本恒一 課長

明星【有明の舞岳太鼓】



舞岳太鼓は、平成 10 年、童話の会「くすのき」のメンバーを中心に小学生から一般までの有志約 20 名で結成しました。昨今メンバーの減少により、活動が縮小していましたが、数年前から地元の中学生が毎年文化祭で舞岳太鼓を披露してくれており、そのための練習などを行っています。

閉会挨拶
山下徳美 会長

長崎県子ども会指導者・育成者研修会〔松浦市大会〕

- 1 日時 平成31年2月17日(日)
13:30～17:00
- 2 会場 松浦市東部交流センター
- 3 内容 ①県子連表彰式
②開会行事
③講演
④実技研修(今福中体育館)
⑤講評
⑥閉会式



開会あいさつ
北御門長蔵 会長



祝辞 県生涯学習課
課長補佐 馬場利浩 様



祝辞 島原市教育委員会
教育次長 宮島哲郎 様

平成30年度の長崎県子ども会指導者・育成者研修会は、松浦市で開催されました。市内の子ども会関係者を中心に、参加者約70名による研修会でした。実技研修は、今福中学校の体育館をお借りして実施しました。松浦市子連と松浦市教育委員会生涯学習課スタッフの一致協力態勢のもと、研修会は大成功のうちに終了しました。

研修内容

研修テーマ

子ども会関係者からの実践発表や体験談などから学ぶことを通して、
子どもの手による子ども会運営をめざそう

講演 “福祉と乗馬の森” 理事長
(有)三輪車 代表取締役 三輪俊治 様
「子どもたちとのかかわり方」
～発達障害児と健常児への大人のアプローチ～



発達障害は、社会性の障害と言われます。国際的には、IQを基準とするのではなく、社会性の有無を問題とします。人は、それぞれ特異性をもっていて、それが目立つ部分が障害として現れるのです。

自宅で過ごす幼少期は、親も気づきにくいのですが、幼保期など集団生活をするようになると課題が顕在化してきます。改善方法の一つとして、子どもの環境を変えてあげること、気持ちや行動様式を安定させることができます。

現在、国の補助で「保育所等訪問支援事業」という専門家を派遣する仕組みがあって、うまくいかない場合は、相談することができます。

実技研修 “松浦市スポーツ推進委員”
「子ども会・育成活動で使えるニュースポーツ」

今福中体育館に移動し、二組に分かれて、ニュースポーツであるカローリングとペタンクを交互に指導していただきました。

指導して下さったのは、3名の松浦市スポーツ推進委員の皆様です。



全体進行
川村正孝 様



表彰式



会場風景



講評 市生涯学習課長
近藤寿一 様



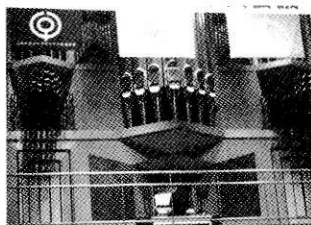
閉会あいさつ
西崎 光 市子連会長

第 52 回（平成 30 年度） 全国子ども会中央会議・研究大会（石川大会）

本年度の全国大会は、平成 31 年 2 月 23 日（土）～ 25 日（月）、石川県金沢市で開催されました。

今大会のテーマは、『「遊びは子どもの力」～しなやかな感性を持った子供の育成を～』です。

全国から約 650 名が集まり、大会テーマのもと、熱心に研修するとともに、各種交流を深めました。長崎県からは北御門長蔵会長以下全子連表彰受賞者を含め 4 名が参加し、他県（政令市）子連と積極的な情報交換等を行い、有意義な大会となりました。



アトラクション



子ども素囃子



子ども梯子のぼり



開会式

大会日程	開催趣旨（全子連）
大会1日目〔2月23日（土）〕 1 アトラクション 13:00 ～ ・パイプオルガン演奏 2 子ども伝統芸能発表 ・子ども素囃子・子ども梯子のぼり 3 開会式・全子連表彰式 13:50 ～ 4 記念講演① 15:30 ～ ・演題「これまでの出来事」 ・講師 劇作家 本谷有希子 氏 5 受賞者記念撮影 16:40 ～ 6 受賞者を囲む会・情報交換会 18:00 ～ 大会2日目〔2月24日（日）〕 1 分科会（午前の部） 9:00 ～ 2 昼食 11:50 ～ 3 分科会発表 13:00 ～ 4 記念講演② 15:30 ～ ・演題「教育改革と社会が求める人材」 ・講師 会社社長 大島淳光 氏 5 閉会式 15:15 ～ 大会3日目〔2月26日（月）〕 1 エクスカーション 8:15 ～ ・選択コースに分かれて研修 （終了後 解散）	テーマ「明日の子ども会をより輝かせるために」 みんなで考えよう 子ども会の将来像とは 子ども会支援のネットワークづくりに取り組もう 公益社団法人全国子ども会連合会は、子ども会活動がより活性化するための事業を行い、子どもたちが社会を逞しく生き抜くために必要な特性の涵養、及び子どもの健全育成に寄与することを目的として、各地における子ども会活動の支援をしています。 しかし、現在の子どもたちは、日常生活の中で異年齢集団での体験活動の経験を得ることが少なくなってきたといわれており、また、子ども会活動に対する保護者や行政の理解が十分得られない団体も散見されるようになってきます。 このような状況を打開すべく、全子連では、平成 28 年度から子ども会活動の活性化を目指して各地区に地区推進研究会を、平成 29 年度には、全子連に子ども会未来委員会を設置し、子ども会未来像を示す検討を行っています。 また、会員と年齢が近く、会員と育成者の間に位置するシニア・リーダーの実質的指導などを行うため、平成 29 年度には「全子連ユース」が結成されました。 このような中で、全国の子ども会の育成者、指導者、シニア・リーダーが金沢の地に集い、子ども会の将来像を考えるとともに、地域、行政も含めた子ども会支援のネットワークづくりについて情報交換をすることにより、明日の子ども会がより輝くものとなることを願っております。



記念講演①



分科会



記念講演②



大会旗の引き継ぎ

平成29・30年度 県子連・九子連・全子連表彰 受賞者一覧表

平成29年度 全子連表彰

区分	地区	氏 名	団体名 および 役 職 名	活動年数
個人	長崎市	松 林 廣 美	橘中学校区青少協 事務局長	27年



松林廣美 様

平成30年度 全子連表彰

区分	地区	氏 名	団体名 および 役 職 名	活動年数
個人	長崎市	池田安芸枝	長崎市ジュニア・リーダー指導者	32年
団体	佐世保市	佐世保市子ども会育成連絡協議会		68年



池田安芸枝 様

平成30年度 九子連表彰

区分	地区	氏 名	団体名 および 役 職 名	活動年数
指導者	諫早市	上 野 恒 信	諫早市子連専門指導員	23年
	長崎市	羽 柴 悟	式見中校区青少協事務局長	32年
	佐世保市	吉村美智子	佐世保市子連事務局	28年



佐世保市子連 様

平成30年度 県子連表彰

〔 団 体 〕

区分	地区	団 体 名	子ども代表 育成者代表	活動年数
子ども会	佐世保市	楠泊2部育成会	村 岡 望 愛 村 岡 美 和	63年
		西川内育成会	陣内恵利花 陣 内 智 子	53年
	川棚町	若草子供会	上 野 優 羽 上 野 明 洋	67年

〔 個 人 〕

区分	地区	氏 名	団体名 および 役 職 名	活動年数
指導者	長崎市	梶 原 裕 二	西浦上小学校区専門委員	11年
	諫早市	平 山 仁	専門指導員	10年



上野恒信 様



楠泊2部育成会 様



西川内育成会 様



梶原裕二 様



吉村美智子 様

お知らせ

全国子ども会ジュニア・リーダー研究集会の復活

2014（平成26）年度以降、中断していた全子連ジュニア・リーダー研究集会が、2019年度から復活開催されることになりました。全子連ユース（各県シニアの代表組織）が、企画運営にあたる予定で、各県ジュニア・リーダーの交流と研修を目的としています。2019年度は、7月13日（土）～15日（月）に、国立オリンピック記念センターで開催予定です。

県子連創立50周年

一般財団長崎県子ども会育成連合会は、1969年（昭和44年）5月27日に結成、2019年で、創立50周年を迎えることになりました。

節目の50年に際し、関係の皆様にお集まりいただき、記念式典と祝賀会を開催する予定です。



記念式典・祝賀会（予定）

期 日：2019年10月26日（土）
時 間：13:00～16:00
会 場：ホテルセントヒル長崎

長崎県こども会 リーダークラブの設立

本年度、長崎県子連に〔ジュニア・リーダー部〕と〔シニア・リーダー部〕の連合同組織としての「長崎県子ども会リーダークラブ」を設立しました。県内各市町から推薦された、ジュニア・リーダー部19名、シニア・リーダー部11名を部員登録しています。（2019年1月現在）入部受付は、新年度も継続して行います。中学生以上の方の入部、推薦をお待ちしています。

安全啓発中級指導者の認定

本年度の中級指導者養成講習会を受講した長崎県受講者のうち4名の皆さんが、中級の資格認定を受けました。これで長崎県の中級資格認定者は、11名になりました。

ちなみに、県内の初級認定者は58名です。大いに受講し、認定者を増やして行きたいですね。

訂正記事

前号（県子連ニュースNo.40）に誤りがありました

新しく就任した県子連専門委員「平山 仁」様のお名前を「平屋 仁」と間違えて記載しました。お詫びして訂正いたします。

2019年度 県子連主要事業計画（予定）

事業名	開催日	会場
全国子ども会ジュニア・リーダー研究集会	7月13日（金）～15日（日）	国立オリンピック記念センター
長崎県子ども会ジュニア・リーダー研修会	8月10日（土）～12日（月）	上五島海洋青少年の家
九州地区子ども会ジュニア・リーダー大会	8月16日（金）～18日（日）	佐賀県：波戸岬少年自然の家
53回全国子ども会育成中央会議・研究大会	10月 4日（金）～ 6日（日）	岡山県：倉敷市芸文館
県子連創立50周年記念式典	10月26日（土）	長崎市：ホテルセントヒル長崎
九州地区子ども会育成研究協議会	11月30日（土）～12月1日（日）	宮崎県：JAアズムホール
長崎県子ども会伝承芸能大会	（未定）	平戸市：

平成30年度 市町別加入会員数と加入率

平成31年1月31日現在

市町名	単子数	加入会員数						加入率(%)〔加入数／児童・生徒数〕			
		未就学児 (0-5歳)	小学生	中学生	高校生	指導者 育成者	合 計	未就学児 (0-5歳)	小学生	中学生	小中計
県 計	1,775	3,559	35,491	6,690	315	26,824	72,879	5.5	49.8	18.3	39.1
長 崎 市	239	516	5,717	630	40	2,885	9,788	2.8	27.9	6.1	20.5
佐世保市	264	569	7,090	808	16	4,797	13,280	4.5	51.5	11.9	38.5
島 原 市	136	371	2,252	295	2	2,871	5,791	17.0	97.4	26.1	74.0
諫 早 市	200	413	4,303	967	4	3,502	9,189	6.0	56.6	22.9	44.6
大 村 市	74	196	1,430	201	25	1,372	3,224	3.3	23.1	6.9	17.9
平 戸 市	100	182	1,117	341	3	967	2,610	14.0	74.7	45.5	65.0
松 浦 市	72	121	909	302	18	1,001	2,351	11.6	65.5	54.0	67.9
対 馬 市	27	12	802	367	2	336	1,519	0.9	51.3	47.8	50.2
壱 岐 市	25	30	997	186	0	148	1,361	2.5	67.6	24.3	52.9
五 島 市	67	98	1,399	231	4	889	2,621	7.3	83.7	27.1	64.6
西 海 市	65	150	1,195	479	35	1,079	2,938	13.3	94.8	78.9	89.6
雲 仙 市	121	266	1,714	398	1	2,016	4,395	13.8	77.8	37.0	64.4
南島原市	163	203	1,865	90	5	2,030	4,193	11.6	86.3	8.0	59.5
市 計	1,553	3,127	30,790	5,295	155	23,893	63,260	5.5	48.5	16.6	37.8
西彼杵郡											
長与町	32	58	991	31	6	333	1,419	2.4	42.1	2.6	28.9
時津町	36	203	1,027	130	0	556	1,916	11.9	57.9	9.0	35.9
東彼杵郡											
東彼杵町	18	18	275	92	0	197	582	5.7	76.6	46.2	65.8
川棚町	32	48	715	388	2	866	2,019	7.5	94.7	93.3	94.2
北松浦郡											
小値賀町	17	22	83	28	18	36	187	26.2	95.4	93.3	94.9
佐々町	25	64	875	317	0	615	1,871	7.2	94.1	73.4	87.5
南松浦郡											
新上五島町	61	19	735	409	134	323	1,620	3.2	96.5	90.7	94.3
郡 計	221	432	4,701	1,395	160	2,926	9,614	5.8	59.9	30.6	49.1
※事務局	1	0	0	0	0	5	5	算出基準の未就学児・児童・生徒数は、 平成30年度長崎県統計による			
合 計	1,775	3,559	35,491	6,690	315	26,824	72,879				

※ 長崎県子連会員数の推移

年度	単子数	加入会員数						加入率(%)〔加入数／児童・生徒数〕			
		未就学児	小学生	中学生	高校生	育成者	合 計	未就学児	小学生	中学生	小中計
30年度	1,775	3,559	35,491	6,690	315	26,824	72,879	5.5%	49.8%	18.3%	39.1%
29年度	1,819	3,676	36,710	7,144	357	27,816	75,703	6%	51%	19%	40%
28年度	1,878	3,862	38,683	7,950	438	29,002	79,935	6%	54%	21%	42%
27年度	1,925	3,702	40,118	8,588	433	29,909	82,750	5%	55%	22%	43%
26年度	1,968	2,687	41,375	9,219	476	30,694	84,451	—	56%	23%	44%
25年度	2,013	2,821	43,040	9,845	490	32,072	88,268	—	57%	24%	45%
24年度	2,051	2,978	44,560	10,335	563	33,165	91,601	—	59%	24%	46%